

農林大学校だより

sinrei 榛 黎

第78号

令和8年3月19日
発行

群馬県立農林大学校

〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005
TEL: 027-371-3244 FAX: 027-371-6968
<https://www.pref.gunma.jp/site/nourindai/>

団結力が結実、
2競技で
堂々の優勝！



令和7年度四県農業大学校親善スポーツ大会
(令和7年10月10日 長野県開催)

水急不月流
(みずきゅうにして
つきをながさず)

校長
砂盃 徹



この春、群馬県立農林大学校を巣立っていく皆さん、卒業・修了おめでとうございます。桜の花に迎えられた皆さんが、暑い日も寒い日も、雨の日も風の強い日も、毎朝、寮から教室までの坂道を通った姿、教室で学び、実習に取り組む姿が、思い浮かびます。

農林大学校での日々では、生活の変化や人間関係、勉強や進路に悩むこともあったでしょう。しかし、入校前の自分と今の自分とを比べてみてください。知らなかったことを知り、できなかったことができるようになった自分を誇りに思ってください。

そしてどうか自信を胸に、明日からの一歩を力強く踏み出してください。

「水急不月流」という言葉があります。

「どんなに川の水の流れが急であっても、水面に映っている月影は流されることはない」という意味です。

「水の流れ」というのは、言ってみれば世間で起きていることを指し、「水面に映る月影」は自分自身の心を表しています。

皆さんはこれから、様々な価値観に出会うと思います。

また最近の国内外の情勢を見ても、社会の大きな変化に直面することが予想されます。

時には辛いことや不安感に襲われることもあるでしょう。しかし、そんな社会の流れに気を取られることなく、心に湧き上がる感情を素直に受け入れつつも、さっと受け流していく。いつも水面に映る月影のような心持ちでいること。それが皆さんの「あなたらしさ」ではないでしょうか。

月影のような心持ちでいようと思うときに役立つのは、きっとこの農林大学校で得た経験であり、人間関係です。

どうか自信を持って、健康に留意しながら力強く前に進んでいってください。

皆さんの未来が幸多からんことを心からお祈りしています。

学びの日々を糧に、 新しい世界へ

後援会 会長
町田 道行



卒業生の皆さま、このたびはご卒業、誠にありがとうございます。農林大学校で過ごされた日々は、座学で得た専門的な知識だけでなく実習や現場での経験を通じて、自然の厳しさや恵み、人とのつながりの大切さを学ばれたかけがえのない時間であったことと思います。一つひとつの努力の積み重ねが、今日という晴れの日につながっていることを、どうか誇りに思ってください。

これまで皆さんを導き、支えてくださった教職員の方々、そして温かく見守ってくださった地域の皆さまへの感謝の気持ちを、これからの歩みの中でも大切にしていだければと思います。農業・林業を取り巻く環境は日々変化し、決して平坦な道ではありません。しかし、農林大学校で培われた知識、技術、そして困難に立ち向かう姿勢は、必ず皆さんの力となり、社会の中で生かされていくことでしょう。

保護者一同、皆さんが努力を重ね、大きく成長された姿を誇りに感じております。これから先、新たな環境で戸惑いや不安を感じることもあるかもしれませんが、そのような時こそ、ここで学んだことや仲間と励まし合った日々を思い出し、自分自身を信じて前へ進んでください。卒業生一人ひとりの前途が希望に満ちたものとなり、それぞれの道で大きく羽ばたかれることを心より願い、応援の言葉といたします。

卒業おめでとう



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



農と食のビジネスコース



森林コース



社会人コース

保護者からの一言



積み重ねた日々を力に

金井 彰子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、ここまで熱心にご指導くださった先生方、日々支えてくださった職員の皆様に、心より感謝申し上げます。2年前の入校当初、慣れない寮生活や決して楽ではないであろう農業を学ぶ環境に、我が子がついていけるのかと親として不安もありました。無事卒業の日を迎えられたことをとても嬉しく思います。皆さんは農林大学校での2年間を通して、自然と向き合い働くことの厳しさと、それ以上に喜びを学ばれたことでしょう。また、仲間と過ごした寮生活で、学業からでは得られない協調性や自立心を培ったと思います。榛の木祭で目にした地域の方々や交流する皆さんの姿は、生き生きと自信にあふれていて、日々学びを積み重ね成長しているのだと感じました。農林大学校で学んだ知識と経験は、これから社会に出る皆さんの大きな支えとなることでしょう。これから進む道はそれぞれ違って、学んだことに誇りをもって、自分らしく歩いてください。皆さんの挑戦を心から応援しています。



新たな挑戦

大坪 理恵子

2年前の春、入校してすぐの頃は、まだわからないことも多く、不安があったことと思います。その後の学生生活、寮生活はどうだったでしょうか？暑い中、寒い中での実習は大変なこと、辛いことも多かったことでしょう。寮生活では多くの友人と日々のちょっとしたことから悩みまで多くを語り合ったのでしょうか。課題研究は遅くまで熱心に打ち込んだことと思います。先生のご指導のもと、実習・学習・課題研究など、沢山のことを学んできました。それらを胸に刻んで、社会人として新たな挑戦に向かって歩んでください。ご指導をしてくださった先生方、皆様方、関係者の方々には、大変お世話になりました。皆様のご活躍をご祈念申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

学校生活の思い出



野菜コース2年
平井 斗騎也

私の1番の思い出は、仲間と何気ない日常を共有できた寮生活です。朝は同部屋の友人と同じ時間に起床し、互いに眠そうな顔で挨拶を交わしながら、食堂へ向かいました。平日は、授業や実習で疲れて帰ってきて、寮に戻れば誰かがいて、何気ない会話をするだけで気持ちが和らぎました。また、夜には1つの部屋に集まって、一緒にゲームをしたり、将来の話やくだらない話で盛り上がりたりしました。共に過ごす時間が長い分、意見がぶつかり衝突することもありましたが、本音で向き合い、乗り越えることで互いを理解し、絆が深まったと感じます。家族のような距離感で過ごした日々は、今でも心に深く刻まれている大切な思い出です。



花き・果樹コース2年
田中 萌栞

農林大学校で過ごした日々は、私にとってかけがえのない時間でした。初めての寮生活では、慣れない環境に戸惑うこともありましたが、同室の仲間と支え合い、次第に毎日が楽しいものへと変わっていきました。授業では、花の栽培を基礎から実践まで学び、植物を育てることの難しさや楽しさを実感しました。また、温室の管理や灌水を自分たちで考えながら行った当番作業では、農業の大変さを改めて痛感し、仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。フラワー装飾技能士の資格取得に向けて、練習もたくさん行いました。限られた時間の中で作品を仕上げることは難しく、思うようにいかず悔しいときもありましたが、練習を積み重ね、無事に合格できたときは本当に嬉しかったです。仲間と協力しながら学んだ学校生活は、技術だけでなく人としても成長できた時間でした。ここで得た経験を胸に、これから先の道でも前向きに頑張っていきたいと思います。



酪農肉牛コース2年
伊能 真哉

私は、農林大学校に入校して、畜産に関する知識・技術を中心に農業全般に関する内容をたくさん学ぶことができました。農業は、高校から学んでいるものの知識が乏しく、また寮での生活にも不安がありました。しかし、授業や実習で先生や先輩方が優しく丁寧に教えてくれ、だんだんと知識や技術を身につけることができました。

この2年間で最も印象に残っていることは課題研究です。私は、先輩の課題研究を引き継ぎ、一生懸命に取り組みました。そして学校代表として関東大会に出場して3位に入賞し、しっかり評価してもらえたことがとても印象に残っています。また、課題研究以外にも、コースの同級生が2人だったからこそ、榛の木祭など相手と協力して取り組むことができ、最高のものを作ることができました。この2年間の生活すべてが良い思い出です。

農林大学校で学んだことを生かして、今後、群馬県の畜産がより良くなるように貢献していきたいです。



農と食のビジネス
コース2年
笠原 綾乃

私は普通高校を卒業後、農林大学校へ進学したため、入校当初は専門的な学びについていけるのか不安を感じていました。しかし、その不安とは裏腹に、学校生活はとても充実しており、毎日が楽しく、あっという間に時間が過ぎていきました。

特に印象に残っているのは寮生活です。先輩や同級生、後輩たちと日常的に会話をしたり、一緒に料理をしたりと、学年を越えた交流を深めることができました。何気ない日常の一つひとつが、今でも心に強く残っています。

また、球技大会などの学校行事では、年齢に関係なく真剣に戦ったり、協力し合ったりする中で、仲間との絆をより深めることができました。

農林大学校で経験した濃い2年間は、私にとって大きな財産です。この貴重な経験を糧に、これからもさまざまなことに挑戦し、努力を続けていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



森林コース2年
内田 貴陽

私は、この2年間で林業に関する専門的な知識や技術といったものを学習するとともに、かけがえのない思い出や友人を作ることができました。

授業では、座学だけでなく実際に森林組合等の現場を見に行ったり、尾瀬や黒斑山などに登り、植生等を学んだりすることができました。校外学習を通じて森林コースの個性豊かな仲間たちと過ごせたことは、とても有意義な時間でした。

今思えば、最初は不安ばかりでした。自分の出身校が普通科だったこともあり、人見知りだったことや同じ地域の友人が1人もいなかったため、1年間寮で生活しているのかといった不安がありました。しかし、入校してみると自分の思いとは裏腹に男女ともにフレンドリーな人が多く、すぐに仲良くなることができました。

最初は、長いと感じていた2年という学校生活も、今振り返ってみるとあっという間の学校生活であったと感じます。これからは困難なことがあると思いますが、農林大学校での友人や思い出を糧に頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



社会人コース
碓氷 英子

農家に生まれながら野菜作りについて十分な知識を持たないまま過ごしてきた私は、還暦を過ぎてから社会人学生として農林大学校に入校しました。校内の教室や食堂の雰囲気は若い頃を思い出させ、懐かしさを感じながら1年間楽しく通学することができました。

特に印象に残っているのは榛の木祭です。社会人コースの仲間と芋煮とドリンクの販売を行い、材料の調達から調理、販売まで協力して取り組みました。限られた時間の中で準備を進めることは大変でしたが、農業を学ぶ者として安全でおいしいものを提供したいという思いを共有し、実践できた貴重な経験で、絆を深めることができました。

また、若い学生と共に学ぶ中で大きな刺激を受け、農業の奥深さを改めて実感しました。

校長先生、コース担任の先生方をはじめ、温かく支えてくださった皆様への感謝を胸にこの1年で得た学びを今後の農業に生かしていきたいと考えています。

在校生からのメッセージ



1年間ありがとうございました
野菜コース1年 細谷 朋希

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方からは学校の授業や実習、寮生活の仕方を教えてもらいました。私は先輩方と行った実習の時間が印象に残っています。入校したばかりの頃、作業を素早くこなすことができずに困っていた私に、先輩方が効率的な収穫・調製の方法やコツ、実習中に意識すべきことなどを優しく丁寧に教えてくれました。

榛の木祭では、ポップコーンや野菜スープの販売を行いました。一緒に味を決めたり、買い出しに行った際、先輩方はとてもフレンドリーに接してくれたりして、先輩と後輩の垣根を越えた気がして嬉しかったのを覚えています。

これからは私たちが先輩方のように、後輩が困っている時にはすぐに助けに行けるような先輩像を目指し、精進していきます。卒業後は就農する方、就職する方など進路は様々ですが、私たち1年生は先輩方を心より応援しています。1年間本当にありがとうございました。



今までありがとうございました
花き・果樹コース1年 熊川 椋

2年生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。先輩方とは実習時間だけでなく、学校行事や寮生活など様々な場面でお世話になりました。

実習では、わからないことや作業のコツなどを一つひとつ丁寧にわかりやすく教えてくださり、ありがとうございました。先輩方のおかげで、今では作業効率を上げ、作業の意味をしっかりと理解しながら実習を行っています。学校行事では、先輩方の何事にも一生懸命取り組む姿が印象に残っています。榛の木祭の準備では、夜遅くまで一緒にする日もあり、すごく楽しかった思い出です。

寮生活では、初めてわからないことだらけでしたが、先輩方から積極的に声をかけてくださり、楽しく生活を送れました。

これから私たちに後輩ができた時は、先輩方を見習い、優しく教えられるような先輩になりたいです。1年間という短い間でしたが大変お世話になりました。最後になりますが、先輩方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



大好きな先輩方へ
酪農肉牛コース1年 小林 大河

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方には、実習や経営当番、学校行事などの様々な場面でお世話になりました。

入校当初の実習は、初めて行う作業が多く、わからないことだらけで戸惑っていましたが、先輩方が優しく丁寧に作業の仕方やコツを教えてくださいました。今では効率よく作業ができるようになりました。本当に感謝しかありません。

入校してからの1年間を先輩方と過ごすことができ、とても楽しかったです。先輩方が卒業してしまうのは寂しいですが、私たちが先輩方のようにこれから来る後輩に優しく接し、見本となれるように先輩方が築いてくれた伝統、実習への向き合い方を大切に成長していきます。先輩方は、それぞれの進路に進むと思いますが、陰ながら応援しています。

最後になりますが、先輩方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



お世話になった先輩方へ
農と食のビジネスコース1年 酒井 陸

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年生の先輩方には、色々な場面で大変お世話になりました。特に私は、実習で優しく教えて下さったのがとても印象的でした。他にも、入校したばかりの頃などに、何も知らない私たちに学校の事について色々教えて下さったのも、とても嬉しかったです。先輩たちは、とても優しく接しやすく面白い方が多く、私たちから見るととても頼りになる存在でした。卒業してしまうのはとても寂しい事ですが、それぞれの進路で頑張ってください。今度は、私たちが先輩から教わった事や農林大学校の伝統などを後輩に引き継いでいきたいと思っています。先輩たちの事は決して忘れません。今後、辛い事もあると思いますが、この学校で培った事を思い出して頑張ってください。応援しています。

これからのご活躍を期待しています。1年間本当にありがとうございました。



森林コースの先輩方へ
森林コース1年 浅川 竜生

森林コースの先輩方、このたびはご卒業おめでとうございます。

これまで学校生活や実習の場において、私たち後輩を温かく導いてくださり、本当にありがとうございました。先輩方が森林の中で真剣に作業へ向き合う姿や、自然と共に生きることの大切さを語ってくださった言葉は、私たちの心に深く刻まれています。実習を通して、専門的な知識や技術だけでなく、自然を敬う姿勢や仲間と協力することの重要性も学ぶことができました。未熟な私たちですが、先輩方から受け取った多くの学びを胸に、これからの実習や将来の進路に向けて、精一杯努力していきます。

どうかこれからも、私たち後輩の目標であり続けてください。

農林大学校の一年

5月



榛名登山
野菜コース1年 唐鎌 由

榛名登山は、毎年5月に開催される農林大学校ならではのイベントです。学校から榛名湖までの約13kmの道のりを一生懸命に駆け上がった後、上位でのゴールを目指し仲間と共に登ったりします。この過酷なイベントは、日頃から農林業に触れ、実習で育んだ体力と忍耐力、そして仲間と最後まで登りきるチームワークがあってこそ達成することができます。

農林大学校生は普段から榛名山麓で実習に励んでいますが、その険しい山道を登るのは1年でこの日限りです。ゴールするまでには1~2時間以上かかり、途中で諦めてしまう気持ちも出てきますが、多くの学生が毎年完走しています。そして、榛名の大自然の息吹を感じながら登り切ったときの喜びや達成感、それ以上になること間違いなしです！

初めての榛名登山は緊張しましたが、終わってみれば自分の足で下山したいと思うほどになっていました。榛名登山を通じて新緑の季節の榛名山を思う存分満喫してください！

10月



四県農業大学校親善スポーツ大会
森林コース1年 今野 恵太

私は、四県スポーツ大会のバレーボール選手として試合に出場しました。普段では話したことの無い先輩や他コースの人とチームを組むので、どうすればうまく伝え合っただけで試合に臨めるか不安でした。しかし、チームでの練習を通して先輩方と他コースの同級生とコミュニケーションをとることができ、また、私がバレーボール経験者ということもあり、アドバイスを通して皆の団結力が深まりました。

そしてついには四県スポーツ大会当日。今までやってきた練習を生かして全力で試合に臨みましたが、3位という結果でした。1回戦では後半から皆の緊張がほぐれていき、相手チームといい勝負ができて、2回戦では緊張がなく、楽しくプレーをしていました。惜しくも敗れてしまいましたが、今回の四県スポーツ大会では皆が楽しめて、より仲間と団結力も共に深まりました。普段では関わりのない仲間と大会に出て楽しめたことは、私の1番の思い出になりました。

11月



榛の木祭
酪農肉牛コース2年 塚本 華

令和7年度の榛の木祭が11月8日、9日の2日間で開催されました。開始時間前から長蛇の列ができ、とても賑やかな文化祭となりました。1日目は、一般公開日で各コースの農産物販売、模擬店やイベントなどが行われました。また、今年度は、各地域で営農や6次産業化を営む卒業生にも参加していただき、各種野菜やソフトクリーム、プリンなどの販売も行われ、学生の家族はもちろん、地域の方々など多くの人が来場してくれました。

2日目は、雨で予定していたバーベキューが中止になってしまいましたが、当日配布した食材を持ち寄り、学生同士で打ち上げするなど個々で楽しんでもらいました。榛の木祭実行委員長として、開催当日までの準備は非常に大変でしたが、本校の最大イベントを無事に成功させられたことは、今後の人生において非常に役立つ経験となりました。来年度も今年度以上の文化祭となるよう、在校生の皆さん頑張ってください。

12月



代表課題研究発表会
農と食のビジネスコース2年 後藤 大輝

12月12日に群馬会館にて、代表課題研究発表会が行われました。2年生の課題研究発表では、農業・農村に結びついた課題を自分自身で設定及び研究し、その成果を発表します。まとめた成果を分かりやすく伝えるための工夫も多く、学んだ知識をフル活用して、まさに農林大学校の集大成という感じでした。

1年生の意見発表では、農業・農村に対する自分の考えについて、将来どのように展開させていくかという未来像を発表します。発表は、農林大学校での半年間の学びと今後の展望について、地に足のついた説得力のあるものばかりでした。

私は、危機的な状況にあるコンニャク農家の経営改善のため、栽培体系に加工用パレイショを導入することの可能性について研究しました。研究成果は様々な機関の方に協力いただき、とても充実した研究発表ができました。この経験を生かし、今後、農家と関係機関を巻き込んで地域農業が発展する活動をしていきたいです。

6.10.12月



イオン販売会
花き・果樹コース1年 池田 尚文

私は、イオン販売会に花き・果樹コースの代表として参加しました。イオン販売は、農林大学校の販売会の中でも特に大きなイベントです。私は人とのコミュニケーションに苦手意識があり、販売に行くことになった際は、不安と緊張でいっぱいでした。販売が始まると思っていた以上のお客さんが来て、かなり緊張しましたが、事前に準備していた商品の特徴を丁寧に説明すると、たくさん買ってくれる人や感心してくれる人がいて、それが大きな自信につながりました。商品の中で特にカキが大量に残ってしまい、売り切れるかわからない状況でした。何とか売り切るために、必死にカキの魅力について伝えているうちに緊張も消え、自然と会話を楽しみながら接客することができました。そして、最終的にカキを完売させた時の達成感は今でも忘れられません。苦手意識を持っていた販売も、このイオン販売で少し克服することができました。この経験を生かして今後も販売実習に臨みたいと思います。

職員からの贈る言葉



誠実に、どこまでも

野菜コース
徳永 紫乃香

ご卒業おめでとうございます。2年間の学校生活はどうでしたか。たくさんの思い出を持って卒業を迎えていたら嬉しいです。皆さんが社会に出て活躍していく中で、心掛けてほしいことが2つあります。

1つは「知らない」と言う勇氣、もう1つは「ありがとう」という感謝の言葉です。学生時代は友達、家族、先生が当たり前のように皆さんを支えてくれました。この先、社会に出ると少しずつ責任あることを任せられ、戸惑いや不安に直面することもあると思います。それらの殆どは、その物事について「知らない・わからない」ことが要因です。知らないこと、失敗することは恥ずかしいことではありません。新しい物事に挑戦する時は皆知らないことばかりです。何事にも挑戦し続ける人になってください。

また、周りにはわからないことを教えてくれる、助けてくれる人も必ずいるはずで、「やってもらって当たり前」ではなく、ぜひ「ありがとう」と言葉に出して感謝を伝えられる人になってください。



新しい環境でも楽しむ

農と食のビジネスコース
島尻 脩平

ご卒業おめでとうございます。農林大学校で過ごした2年間があったという間に感じている方も多いのではないのでしょうか。今振り返ってみると、榛名登山や四県スポーツ大会、榛の木祭など学校行事を通して皆さんと過ごした楽しい思い出ばかりが思い浮かびます。

これから皆さんは様々な道に進みますが、全員に共通することは、新しい環境に身を置くことです。楽しいことだけであれば良いですが、時には大きな壁にぶつかることもあると思います。「こんなはずではなかった」、「自分は別のことがやりたかったのに」と思うこともあるかもしれません。そのような時に身に付けたことや経験したことが、きっと役に立つはずで、困難であっても自分の将来につながると思って、できることを全力で取り組んでみてください。気づけばその環境の中で楽しさが見出せるようになると思います。

農林大学校で過ごした日々を忘れずに、新たな環境に置かれた皆さんのさらなる成長を願っています。

自治会役員の紹介

2年生からのバトンを受け継ぎ新体制となりました。学校行事やより良い学校づくりのため自治会役員一同、全力を尽くしていきます。そして次の世代へと受け継いでいきたいです。



- 会長 : 高橋 袖季 (花き・果樹コース)
- 副会長 : 福田 雅人 (花き・果樹コース)
- 書記 : 宮越 美裕斗 (農と食のビジネスコース)
- 書記 : 新木 沙季 (森林コース)
- 会計 : 戸村 洸太 (酪農肉牛コース)
- 会計 : 椿 怜士 (農と食のビジネスコース)
- 総務 : 中村 藍介 (野菜コース)
- 総務 : 石井 祐樹 (森林コース)

各種発表会等の出場者・受賞者の紹介

●令和7年度関東ブロック農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

- 【養成課程】
- 1位 後藤 大輝 農と食のビジネスコース (全国大会出場)
- 2位 浅見 悠乃 森林コース
- 3位 伊能 真哉 酪農肉牛コース
- 【意見発表】
- 1位 清水 果恋 酪農肉牛コース (全国大会出場)



●令和7年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

- 【養成課程】
- 最優秀賞 農林水産大臣賞
- 後藤 大輝 農と食のビジネスコース
- 【意見発表】
- 優良賞 清水 果恋 酪農肉牛コース

●令和7年度「みどり戦略学生チャレンジ」関東ブロック大会

- 【大学・専門学校の一部】
- 準グランプリ 群馬県立農林大学校社会人コース
- 「有機ちゃん Do it」

研修部

ぐんま農業実践学校

野菜専門技術コース 20代から60代までの幅広い年代の研修生が、実習を中心とした全70回の研修を通じて、農業経営に必要な知識と野菜の栽培技術をお互いに協力しながら学び、修了することができました。研修で得た知識や技術、そしてここで出会えた仲間との縁を今後も大切にいただき、研修生の皆さんが、本県農業の活性化に向け、各地域の担い手として活躍されることを期待しています。



有機農業コース 令和5年度に新設され、3年目を迎えた「有機農業コース」では、環境負荷を減らし、持続的な農業生産を行うための有機栽培技術について、座学と実習を通して学びました。研修生は、農業経験が豊富な方からこれから農業を始めたい方まで幅広く、研修生同士の情報交換でも様々な学びがありました。この研修を修了した皆さんが、それぞれの地域で有機農業に取り組み、有機農業の輪が広がっていくことを期待しています。



いちごコース ぐんま農業実践学校では、令和6年度から新たに「いちごコース」を開講しました。いちご農家を目指す方や栽培初心者の方が参加し、全8回の研修で、座学と実習を通していちごづくりを楽しく学びました。先進農家の見学や参加者同士の交流も行い、仲間とともに学べるつながりが広がりました。いちご経営は簡単ではありませんが、これから挑戦したい方をしっかり応援し、いちご生産者の輪をさらに広げていきたいと考えています。



令和7年度「ぐんま農業実践学校」修了者

課程・コース		修了者数(人)
野菜専門技術コース		14
有機農業コース		17
いちごコース		11
野菜基礎技術コース	春夏野菜専攻	21
	秋冬野菜専攻	22
トラクター操作講座		19
農業体験講座		4

研修生の言葉



ぐんま農業実践学校
野菜専門技術コース
石井 智久

定年を迎え、米麦経営に加えて野菜栽培へ挑戦するため本コースに入校しました。70日間の研修は大変充実しており、栽培管理技術や専門知識を体系的に学ぶ中で、研修の魅力とやりがいを強く感じました。講師の熱心な指導や同期との交流、「榛の木祭」での活動も貴重な経験でした。今後はここで得た知識と経験を生かし、安全・安心な農産物の生産に努め、地消地産の推進に取り組んでいきたいと考えています。

農業機械研修

本校では、農林大学校生を対象に、大型特殊免許（農耕車に限る）の取得を目的とした「大型トラクター基礎研修」を実施しています。校内の運転練習コースにおいて、大型トラクターの基本操作や安全な道路走行を学び、研修最終日に行われる運転免許試験に合格すると、免許を取得できます。また、トラクター作業機の脱着・調整やロータリー耕など、実践的な内容も取り入れています。

令和7年度も多くの学生が本研修を修了し、運転免許の取得とともに、トラクター作業機の基本操作を習得しました。さらに、「大型トラクターけん引研修（農耕車に限る）」や「農業機械安全利用研修」など、各種研修を実施しています。今後も、より実践的で安全性の高い研修の充実を図り、農業現場で活躍できる人材の育成に努めていきます。



令和7年度大型トラクター研修実績（農林大学校生のみ）

研修名	実施回数(回)	延べ受講者数(人)	延べ免許取得者数(人)
大型トラクター基礎研修	4	62	62
大型トラクターけん引研修	1	20	20